

第 7 期第 2 回高岡市上下水道事業経営委員会（第 1 部）

日時	令和 8 年 9 月 4 日（金）9：45～10：00	
場所	高岡市役所 本庁 3 階 庁議室（高岡市広小路 7 番 50 号）	
議題	諮問「水道事業における適正な水道料金のあり方について」	
資料	・第 7 期第 2 回高岡市上下水道事業経営委員会（第 1 部）開催要綱 ・（写）「水道事業における適正な水道料金のあり方について（諮問）」	
出席者	委員	古田委員長、奥川副委員長
	事務局	上下水道事業管理者 上下水道局長、次長・総務課長、参事、営業課長 事務局員 4 名
議事録		
1. 開会		
2. 上下水道事業 管理者あいさ つ	皆様、おはようございます。 本日は、大変お忙しい中、「第 7 期第 2 回高岡市上下水道事業経営委員会」にご出席いただき、誠にありがとうございます。 本市水道事業は、平成 17 年の市町村合併以降、事業統合や組織統合を進め、効率化と経営基盤の強化に努めてまいりました。平成 29 年には「高岡市上下水道ビジョン」を策定し、「安全・強靱・持続」を基本方針に、施設の計画的な修繕・更新、そして安全・安心な水道水の提供に尽力しております。 しかし、私ども上下水道事業を取り巻く経営環境は、年々厳しさを増しています。 人口減少は料金収入の減少に直結し、経営を圧迫しています。また、高度経済成長期に整備された施設の老朽化が著しく、その更新・耐震化には莫大な費用が必要です。近年の物価高騰も、資材費や光熱水費を押し上げ、経営をさらに厳しくしています。 特に、能登半島地震をはじめとする自然災害の激甚化・頻発化は、水道施設の強靱化が喫緊の課題であることを改めて示しており、市民生活に必要な不可欠なライフラインを守るため、施設の耐震化は急務となっております。 こうした喫緊の課題に加え、脱炭素化や DX 推進といった新たな要請にも応えながら、持続可能な事業運営を実現していかなければなりません。 つきましては、高岡市附属機関に関する条例に基づき、本日、「水道事業における適正な水道料金のあり方について」諮問させていただきます。委員の皆様には、本市の水道事業が抱える課題にご理解をいただき、忌憚のないご意見、ご提言をいただけますようお願い申し上げます。 本日は何卒よろしくお願いいたします。	
3. 諮問		
4. 委員長あいさ つ	今ほど管理者様より、適正な水道料金のあり方についてということで、諮問書をいただきました。高岡市の上下水道局につきましては、公営企業法の全面適用のもと、堅実に邁進し、市民のため、あるいは経済界に貢献なさっていらっしゃいます。ただ、今回の諮問事項に関連してお話があったように、今、自然は非常に荒々しく人間の生活に襲いかかってきております。地震がそうですし、温暖化、そして人口減少など、あらゆる面で公共サービスについては困難な時代が来ようとしております。その中で、ライフラインを守る責任はさらに大きくなってきており、それを	

	踏まえて管理者より我々委員会に諮問がなされたということを十分に理解しております。 私たち委員会としては、これに応えるべく、調査し、議論し、ベストに近い答えを出していきたいと思っております。どうかよろしくお願いいたします。
5. 閉会	